

NO CRASSROOTS, NO ADVENTURE!

— IDENTITY・ZONE そして FUSION —

その19 (R06.05.24)

R06教育構想を読み解く 【心の地図】

⑦一人一人のよさを見つけて伸ばすあたたかい人間関係の構築

今、意識している言葉に「RESPECT」があります。自分が高校生のときに覚えた単語、「RESPECT」は「尊敬する」でした。

あらためて意味を調べると、「ありのままの相手を尊重する」と書かれています。「ありのままの相手」の部分がポイントになるようです。

「RESPECT」という言葉の素晴らしさに気付いたのは、サッカーのC級コーチを取得するために参加した講習会でした。その講習会では、「リスペクト プロジェクト」と名付けられた考えが紹介されました。サッカーコーチとして、



- ①「プレーヤーズ・ファースト」を意識して、選手を指導すること
- ②サッカーができる環境に感謝する気持ちを、選手に浸透すること などなど

サッカーのゲームをするためには、味方の選手がいること、相手の選手がいること、審判がいること、サッカーの道具があること、様々なサポートをしてくれるコーチや保護者がいることなどの環境をそろえる必要があります。だからこそ、サッカーに関わっている人たちを「RESPECT」することが大切です。

このような意識を、芝根小でも実現したいと考えています。自分に対しても、まわりの人に対しても、「RESPECT」できることはすばらしいことです。

ある学級の「朝の会」で、友達が悪口を言う話を取り上げていました。『悪口を言っていると、後で自分に返ってくる。』と伝えていました。

よく、人間関係は鏡のようであると言われます。まわりの人に対して親切にしていけば、まわりの人は自分に対して親切になります。よいことも悪いことも、自分に返ってきます。

どのような人間でも、足りないところがあるものです。だからこそ、人のよさを見つけて伸ばすあたたかい人間関係を構築する必要があります。

自分にも、まわりの人にも、「RESPECT」する心がけを始めて見ませんか。